

授業中に大地震発生！
あなたはどうする？



SFC



大地震

対応マニュアル

【基準事項】

○対象者： SFC の全ての教職員

○時 点： 藤沢市で震度 6 弱以上の揺れが発生した時
または
静岡県から千葉県のいずれかの沿岸に大津波警報が発表された時
(交通マヒが想定されるため)

※本マニュアルは、SFC の全ての教職員が「SFC キャンパス内」で大地震に対応するために必要な情報を簡易的にまとめたマニュアルです。
(管理スタッフ用には、より詳細な「災害時対応マニュアル」を別途定めております)

※『中高等部』は、別途中高等部用の「災害対応マニュアル」を定めております。
本マニュアルは参考資料として確認してください。

※『看護医療学部』は、本マニュアルに加えて、別途「学外授業に関する対応」を定めております。

※災害時は、自身や周囲の方の安全確保はもちろん、臨機応変に対応願います。

【行動指針】

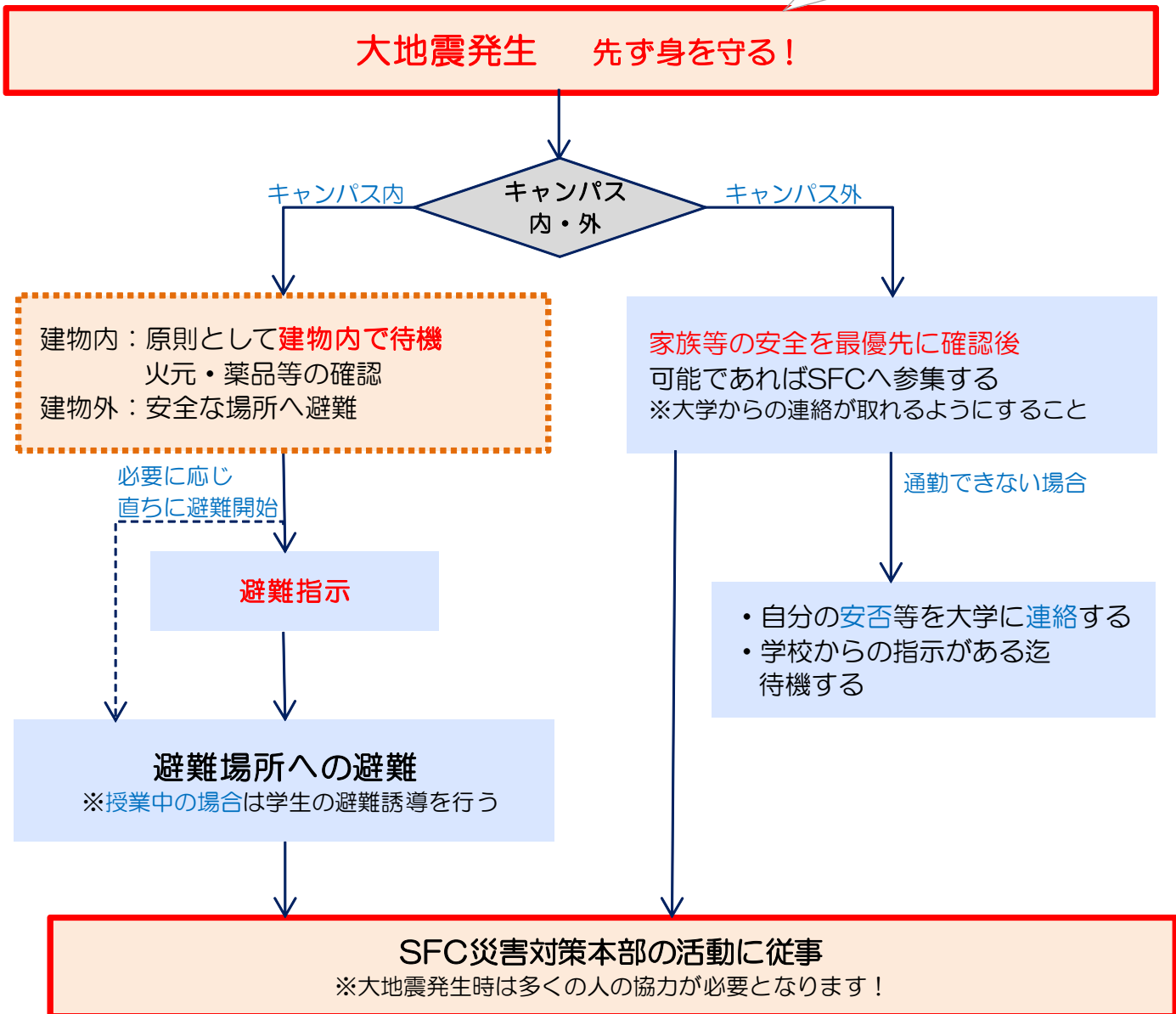
- 大地震が発生した場合は、授業中であれば主に「担当教員」が学生の安全を守るため、待機指示や避難誘導すること
- 大地震発生初期の段階は、他からの指示を待たず、教職員（あなた）の判断で行動すること
- 非常時放送が入ったら、その指示に従うこと
- 避難する途中で負傷者を発見した場合は、可能な範囲で周囲の人と協力して速やかに救助すること
- SFC 災害対策本部が設置された場合は、対策本部の指示に従って行動すること

1 地震発生時（地震に伴う火災）の対応

■ 初動フロー <主に授業日>



藤沢市で震度6弱以上の揺れ 又は 静岡県～千葉県の一づれかの沿岸に大津波警報



■ キャンパスにおける注意事項

①地震発生直後 ～あわてない！まず、その場で自分の身を守る～

- ・ 机の下にもぐらせる、バッグや衣類などで頭を覆い、落下物から身を守る等状況に応じて指示を与える
- ・ 危険な場所（物が落ちてくる・倒れてくる・移動してくる）から離れる、離れさせる
- ・ 余裕があれば、近くのドアを開け、避難経路を確保する
- ・ 実験中で火気や薬品を使用している場合は、ガスの元栓を閉める等、すばやく火の始末をする（火よりも身の安全。余裕に応じて消火）
- ・ エレベーターに乗っている時は、全ての階のボタンを押し、自動的に停止した階で降りる
閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターフォンで外部と連絡をとり救助を待つ

②揺れがおさまった時 ～自分のいる場所の安全確認～

- ・ 室内設備の転倒、ガラスの飛散、薬品の漏れがないか確認する
- ・ 建物にひびが入っていないか、傾いていないか確認する
- ・ 火災が発生していないか確認する
（火が出たら、火災報知機ボタンを押し、落ち着いて初期消火を行う）
- ・ 建物内に居る場合：危険がない限り、原則として建物内で待機
⇒ 学生を落ち着かせ、照明器具や棚等の転倒、落下に注意しながら、柱周りや壁際など安全な場所で待機させる
- ・ 建物外にいる場合：状況を確認して、安全な場所に避難
- ・ 非常放送の指示があった場合は、その指示に従う



③落ち着いた時 ～避難するときの注意点～

- ・ 非常放送による避難指示、または避難の必要がある場合は、避難経路の安全を確認しながら、落ち着いて安全な場所に学生を避難誘導する
- ・ 地震の時はドアが変形して開かなくなることがあるため、ドアを開放して避難ルートを確認する
- ・ エレベーターは絶対に使わない！階段を使って避難する
- ・ パニックにならないよう、学生に声をかけながら避難誘導する（押しあわず、走らない）
- ・ 忘れ物があっても、元の場所に戻らない
- ・ 学生以外の「施設に不慣れな来客者」や「障害者」などの避難を積極的に支援する
- ・ むやみに帰宅すると帰宅困難者となる恐れがあるため、SFC 内に待機する



地震に伴う火災発生時の対応

①火災を発見した時

- ・ 火災を発見したら、大声で周りの人に知らせ、近くにある**火災報知機**のボタンを押す
- ・ 初期消火が可能な場合（火が天井に届いたら、初期消火は不可）は、身近にある**消火器**で消火活動を行う
- ・ 初期消火ができない場合や火元でない場合は、避難経路に従い速やかに**建物外へ避難**する
- ・ 火災報知機の非常ベルは建物毎になる（自分の建物の場合は、速やかに避難する）



火災報知機

②避難する時の注意点

- ・ 火災の場合は、姿勢を低くして、濡れたハンカチやタオルを口と鼻にあて、煙を吸わないようにする
- ・ 延焼を少しでも抑えるために、**ドアや窓は閉める（鍵はかけない）**
- ・ 2次災害を防止するため、ガスの元栓を閉める
- ・ 配電盤のある研究室・実験室等はスイッチを切り、電気器具のプラグを抜いてスイッチを切る
- ・ 階段を使って避難する（**エレベーターは絶対に使わない**）
- ・ パニックにならないよう、学生に声をかけながら避難誘導する（**押しあわず、走らない**）
- ・ 忘れ物があっても、**元の場所に戻らない**
- ・ **非常放送**の指示があった場合は、その**指示に従う**
- ・ 学生以外の「施設に不慣れな来客者」や「障害者」などの避難を積極的に支援する
- ・ むやみに帰宅すると帰宅困難者となる恐れがあるため、**SFC 内に待機する**

SFC 警備室 <24 時間 365 日常駐> **【内線】 52190** **【外線】 0466-47-5114**

■ 建物や設備の異常を発見した時

防災センター **【内線】 52163~4** TEL : 0466-49-3631
 (本館 地下1階) ※平日のみ (休日は SFC 警備室へ連絡)

■ けが人を発見した時

保健管理センター 湘南藤沢診療所 **【内線】 52201** TEL : 0466-49-3411
 (本館 2階) ※平日のみ (休日は SFC 警備室へ連絡)

■ 火災を発見した時

藤沢市北消防署 TEL : 119
 ※消防署へ通報した時は、必ず SFC 警備室にも報告してください

◆上記の緊急連絡先に報告が終わり次第、**状況判断に応じて下記へ報告**してください。

職制	報告先	
全体統括・学術交流	キャンパス事務長	【内線】 52100 TEL : 0466-49-3400
庶務・管財・施設・経理	総務担当課長	【内線】 52101 TEL : 0466-49-3401
教務	学事担当課長	【内線】 52127 TEL : 0466-49-3410
国際	学事担当国際担当課長	【内線】 52027 TEL : 0466-49-3571
学生生活・就職・奨学金等	学生支援担当課長	【内線】 52121 TEL : 0466-49-3408
外部資金・研究所関連等	学術研究支援担当課長	【内線】 53801 TEL : 0466-49-3439
図書館・マルチメディア・教材印刷・看護医療学部図書館	メディアセンター事務長	【内線】 52501 TEL : 0466-49-3427
コンピューター・ネットワーク	ITC事務長	【内線】 52502 TEL : 0466-49-3424
看護医療学部	看護医療学部担当課長	【内線】 55050 TEL : 0466-49-6200
中・高等部	中高事務長	【内線】 52811 TEL : 0466-49-3584

3 SFC からの情報連絡

SFC からの情報（休講措置、大学への参集等）は、「SFC 公式ウェブサイト」等を通じてお知らせします。

■ SFC 公式ウェブサイト <http://www.sfc.keio.ac.jp/>

4 安否連絡

安否確認システムからのメールが来た場合、**教職員各人**は速やかに**安否確認システム**へ情報を登録してください。（2016年度中に運用開始予定）
 その他各種情報について報告する時は、下記へ連絡してください。

■ 安否確認システム <http://anpi.keio.ac.jp/>

<安否確認システムQRコード>

■ 電話 総務担当（庶務）TEL：0466-49-3404



<運用イメージ> (予定)

- ① 安否確認システムから、keio.jpメールに安否状況登録依頼メールが通知される。
- ② 「安否情報登録ページ」から、安否状況を登録する。

◆**家族との安否連絡**は、NTT災害伝言ダイヤル「171」、NTT災害用伝言板「web171」、携帯各社の災害伝言サービス等を利用してください。



docomo



au



Softbank



Ymobile

5 避難場所 ・ 避難経路

■ 一時避難場所（大学グラウンド）

※看護医療学部は、第1次避難場所「玄関前」、第2次避難場所「大学グラウンド」

非常時放送により避難指示がある場合、学生を一時的に避難誘導してください。

- ・ 延焼火災などから一時的に身を守るために避難する場所です。
- ・ 大規模な火災等が起きた場合には「広域避難場所（秋葉台公園）」へ集団で避難してください。

■ 避難施設（大学体育館）

帰宅困難時、長期間滞在を強いられる場合、非常時放送の指示に従い学生を避難誘導してください。

- ・ 藤沢市では、「大学体育館」を避難施設に指定しています。
- ・ 開設された際は学生及び教職員以外の近隣住民等も受入れます。
- ・ 藤沢市が定める避難施設運営委員会により運営されます。避難した場合はその指示に従ってください。

■ 広域避難場所（秋葉台公園）

SFC に一時避難場所が確保できない場合、非常時放送の指示に従い学生を避難誘導してください。

- ・ 藤沢市では、「秋葉台公園」を広域避難場所に指定しています。



<帰宅支援ステーション>

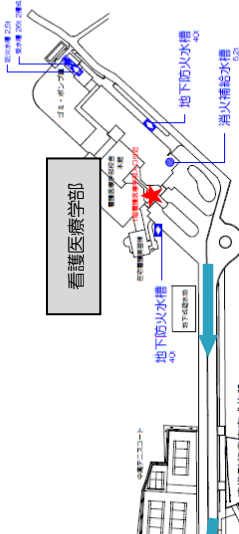
★：コンビニエンスストア

SFC 避難経路図マップ

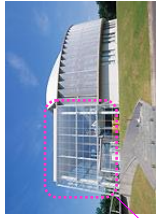


大学グラウンド

- 凡 例
- 屋外消火栓
 - 防火水櫃
 - 連結排水管排水口
 - 連結排水設備排水管
 - 受水櫃
 - 防災
 - ★ AED
 - ★ 避難時に特に注意を要する箇所 (地震面・頭上等)
 - 防災倉庫
 - 避難施設・一時避難場所
 - 一時避難場所の避難経路



湘南台駅 方面



避難時に頭上等、注意が必要
※落下物・ガラス破片等



大雨の時、水位があがるため
周辺は注意が必要



- AED AED設置場所**
- ★ 湘南藤沢大学
 - ・北門警備室
 - ・本館ホール
 - ・厚生棟
 - ・講義室棟
 - ・体育館
 - ・メディアセンター
 - ・V棟 (ニュー)
 - ★ 中高等部
 - ・監理室
 - ・南校舎
 - ・保健室
 - ・教員室
 - ・グラウンド
 - ★ 看護医療学部
 - ・看護医療学部
 - ★ 防災設備場所
 - 湘南藤沢大学
 - ・体育館
 - ・本館ウェルネスセンター
 - 中高等部
 - ・グラウンド
 - ・保健室
 - ・体育館
- 1階 1階入口付近
地下1階 防炎センター
1階 エントランス
1階 入口付近
1階外
テニスコート付近
1階入口手前
1階入口付近
1階室内
2階室内
洗面所付近
1階入口付近
1階入口付近
1階 エントランス
2階入口左
男子洗面所付近
1階 入口付近

※トイレの使用について

- ・停電に伴い、照明設備、エレベーター及び給排水衛生設備 (水道、トイレ) 等が使用できなくなります。
- ・「避難施設 (大学体育館)」が開設された場合、藤沢市が「防災用トイレ」を仮設する予定です。

使用については藤沢市の運用に従ってください。 (設置予定場所 大学体育館前 駐車場付近)

6 キャンパス外における注意事項

①地震発生直後

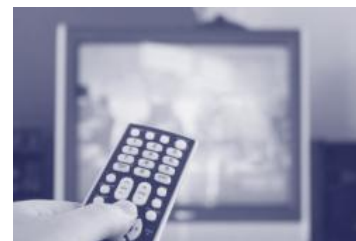
- ・ 周辺の状況に注意し、**身の安全の確保を最優先**とする
- ・ 塀、電柱、自動販売機などから離れ、ビルやガラスや看板などの**落下物に注意**する
- ・ 地下鉄では停電になった場合は非常灯が点灯するので、乗務員の指示があるまでは車外には出ない
- ・ 地下街で停電になっても非常灯、誘導灯がつくので冷静に行動する

②揺れがおさまったら

- ・ 周辺の被害状況を確認し、駅や施設内の場合は係員の指示に従う
- ・ 公共機関、テレビ、ラジオ、Webなどで正しい**情報を収集**する
- ・ 移動する場合は**余震**に備え、ブロック塀や電柱、ビルなどから離れて歩く
- ・ 車から降りて逃げる場合は、ドアをロックせず、キーをつけたままにする
車検証は持ち出し、自分の連絡先などを残す
- ・ 市区町村や警察、消防等の指示に従う

③落ち着いた時

- ・ 引き続き**余震**に注意する
- ・ **(自宅、学校へ自己判断で戻らず)** まずは最寄りの地域防災拠点や、臨時避難所へ移動する
- ・ 避難場所が分からない時は、火災や倒壊の危険がない最寄りの空き地や公園へ避難する
- ・ 避難先でも周辺状況を確認し、大規模延焼火災の恐れがある場合は、広域避難場所や
広大なスペースへ移動する
- ・ 避難場所の安全が確認できた場合は、各避難場所の指示に従う
- ・ **自分の安否等を大学に連絡**する



7 災害への備え

日頃の準備

- ・ 避難経路及び避難場所の確認（キャンパス構内・キャンパス付近・自宅周辺・実習施設）
- ・ 大学宛の安否連絡方法、家族との連絡方法及び待ち合わせ場所の確認
- ・ 消防用設備（消火器、屋内消火栓、火災報知機等）の設置場所の確認
- ・ AED・担架の設置場所の確認
- ・ 災害用伝言サービスの確認及び登録（メール宛先などの事前登録が必要）
- ・ 帰宅ルート及び所要時間の確認



施設の備え



地震の発生に備える

- ・ 危険物は、日常的に使用する物でも倒れたり、落下したり、振動しないような状態にして管理
- ・ 揺れて倒れる恐れがある機器、什器（棚、家具）等は、床・壁・柱・天井等に固定
- ・ 重い物品等はできるだけ下に置き、物品を積み上げることなく整理
- ・ 教室、研究室及び実験室等の専有部、並びに通路・階段等の共用部において、安全な避難路を確保



火災の発生に備える

- ・ 火気を使用した状態でその場を離れない、また離れる場合は機器の電源や元栓を閉める
- ・ 火気のそばに可燃性及び引火性の物を置かない
- ・ 指定された喫煙場所以外で喫煙をしない



風水害の発生に備える

- ・ 強風で飛散しやすい物を屋外に設置しないようにする
- ・ 看板、サッカーゴール等の転倒する恐れがある物は、予め措置を講じる
- ・ 窓は鍵をかけ、出入口のドアは閉鎖し、必要に応じてガラスの外部面を保護

備蓄・備品の備え

SFC では、災害に備え防災備蓄及び備品を常時保管しています。
必要に応じ、非常時放送にて連絡後、提供します。

8 応急手当の方法

心肺蘇生法

- ① 肩をたたきながら声をかける



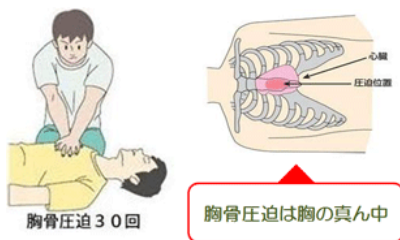
- ② 反応がなかったら大声で助けを求め 119 番通報と AED 搬送を依頼



- ③ 呼吸を確認する



- ④ 普段通りの呼吸がなかったら、すぐに胸骨圧迫を30回行う



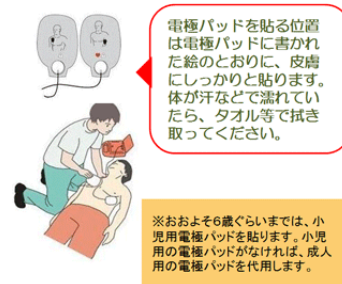
- ⑤ 胸骨圧迫の後、人工呼吸*を2回行う



- ⑥ AED が到着したら



- ⑦ 電極パッドを胸に貼る



- ⑧ 電気ショックの必要性は AED が判断する



- ⑨ ショックボタンを押す



※人工呼吸を実施しなくてもよい場合の基準

- 口対口の人工呼吸がためらわれる場合
- 一方方向付人工呼吸用器具がない場合
- 血液や嘔吐物などにより感染危険がある場合

人工呼吸を行わず、胸骨圧迫を続けます

※人工呼吸用のマウスピース等をしようしなくても感染危険は極めて低いといわれていますが、感染防止の観点から、人工呼吸用マウスピース等を使用した方がより安全です。